

稲葉健二のコラム

『優先順位』という言葉はとてもわかりやすい言葉ですが、その当事者になった場合には、どのような基準で決めたのか、公平性は保たれているのか議論になります。どの方も、少しでも自分の立場を理解してもらいたいと思うことは自然のことだと思います。

例えば市営住宅などに入居を希望している方がいて、自分の困窮度が一番だと主張する方も多くいるそうです。昔と違い、今は、基準表をもとに点数をつけて待機の順番を決めています。その順位により入居の順番がまわってきます。昔は抽選をしたりすることが公平性という時代もありました。今は、市営住宅、保育園の入園、放課後保育クラブの入所などいろいろなところで基準をもとに『優先順位』を算定して順番をつくります。各自に理解してもらうために説明もせずし、一部基準も公開しています。

今回保育園の入所の基準表の公開について質問をしたことも、このような経緯からです。入園を希望している保護者にとって少しでも早く入園させたい、と思う度合いは感情では測ることができません。その切迫度や必要性を一定の基準で平等に判定することが必要となるわけです。もちろん、緊急性がでたときには加算されることで順位も動いていきますし、余裕のある方は少しお待ちいただくことになるわけです。

私たち議員は皆さんの付託を受けて活動をしています。市民の方たちにより良い生活ができるように考えています。どの方も平等に権利を受けれるように努力していますが、なかなか思うようには期待に答えられません。しかし、議員として言ったからには責任を負うことになります。誰でも喜ぶようなことを言うことは簡単ですが、現実や現場を知って、時には嫌われることを言うことにもなるのです。ここで言いたいことは、議員は理想像だけというのではなく、時には無理であるということもしっかりと説明する必要があると思っています。期待をさせるようなことを言って、いい人になることとしっかりと現実を説明して理解してもらうことも、両方大事ではないでしょうか。いつか書きましたが議員は何でもできるわけではありません。しかし、皆さんのため、市川市のために働きます。私は目標に向けての努力は惜しみませんが、いいことばかり言う議員にはなれない気がします。

地に足をつけて、一つ一つ歩みを進む議員を目指してこれからも活動していきたいと思っています。よろしくお願い致します。



「意見・要望等お気軽にご相談！」



市川市議会議員

稲葉健二の 一言メッセージ

26

平成21年1月1日発行
稲葉健二事務所
272-0021
市川市八幡 2-2-10
TEL 047-333-1783
FAX 047-334-1990
URL www.inaba-kenji.jp
MAIL kenjiinaba@aol.com

指定管理者の特集です。

皆様新年明けましておめでとうございます。私達議員は公職選挙法により、年賀状を出すことに制限がありますので、この場をお借りしてご挨拶させていただきます。今年も頑張ってくださいませのでよろしくお願い致します。

今回の特集は、前号でも一部ふれましたが、指定管理者のことを特集します。法律の改正で市の施設の管理や委託業務は民間に開放するようにする国の施策により直営（市の職員での管理運営）か指定管理者の指定（市以外の団体などによる管理運営）となります。この議会では来年度以降の指定管理者の指定議案が多くありました。主のものは前号で特集した、放課後保育クラブ（学童）を市川市社会福祉協議会に指定する議案、文化会館や市民会館や行徳公会堂などの文化施設を文化振興財団に指定する議案、そして一番論議を呼んだのは、市川駅の南口に新しく開設される図書館を直営ではなく、民間の運営に委ねるかどうかの議案でした。新聞にも一部掲載されましたが、今までの図書館は全て市の職員で運営されていました。この新しい図書館は中央図書館が主たる業務（選書やリファレンス等）を管理し、通常の運営は民間に委ねるという議案でした。民間に委ねることにより市は年間一千万円の経費削減が見込めることと、開館の時間を駅前という立地から夜間までにすることが民間であることで容易であるとのことでした。この意見に反対の方たちの意見は、市川市の図書館レベルの優れている部分を民間では期待できないとのことでした。私が委員長をしている、環境文教委員会でも多くの議論が行われ、委員会の採決は一票差で否決という結果となりました。しかし議場での採決は賛成多数で採択されました。ここで何を言いたいのかというと私は採択に賛成です。費用を削ることが全てではありませんが、指定管理者を選ぶ段階で精査すれば民間でも十分対応できると思っています。市の職員でなければできない業務とちゃんとすみ分けすれば問題ないと思っています。現実に、放課後保育クラブを委託している市川市社会福祉協議会は市の職員ではありませんが素晴らしい運営をしています。文化会館などを委託している文化振興財団も然りです。時代とともに委託する事業や内容を検討し考えていくことも市民のためであると思っています。その上で費用効果が生まれればその部分をより良い施策に使うべきであると思います。



市川駅行政サービスセンター

市川市の情報コーナー

急病時の医療機関ダイヤルができました。 0377-9911

議会でも何回も質問し開設をお願いしていた、24時間対応の病院案内が開設されました。24時間完全ではありませんが、電話をかけて人が出て、今受診できる病院を案内してくれるというものです。緊急のときに案内テーブルでは落ち着きがなくならずし、また、状況を聞いてもらってから行き先を聞けることとなります。時間帯によっては一部テーブルが流れますがかなり改善されています。本当は使うことがないことが一番ですが、いざという時に利用してください。

市川駅の南口に 行政サービスセンターが開設予定

市川駅の南口再開発ビルの中に行政サービスセンターが開設する予定です。アイリンクホールなど市民の方たちが使える部屋やホールもできます。行政サービスの窓口も夜間開設も予定しているので便利になります。

前号の一部訂正です

前号の子どもの居場所の特集の中で、一部写真が文字にかぶって消えていました。ご指摘をして下さった方もいらっしやいました。申し訳ありませんでした。下から7行目の部分です。「大事ですが、」の後に、『少しでも早くお迎え』という言葉が入っています。